

令和6年6月定例会 文教厚生委員会（事前）

令和6年6月10日（月）

〔委員会の概要 こども未来部関係〕

立川委員長

ただいまから文教厚生委員会を開会いたします。（10時37分）

直ちに議事に入ります。

これより当委員会の閉会中継続調査事件を議題といたします。

まず、こども未来部関係の調査を行います。

この際、こども未来部関係の所管事務及び6月定例会提出予定議案等について理事者側から説明を願うとともに、報告事項があればこれを受けることといたします。

なお、理事者各位に申し上げます。

今年度、当委員会においては、議案の説明等は着座のままでなされますよう、よろしくお願いいたします。

【所管事務及び重点事業の説明】（説明資料（所管事務））

【提出予定議案等】（説明資料）

- 議案第1号 令和6年度徳島県一般会計補正予算（第1号）
- 議案第9号 徳島県こども未来関係手数料条例の制定について
- 議案第10号 就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律施行条例の一部改正について
- 報告第2号 令和5年度徳島県繰越明許費繰越計算書について

【報告事項】

- 保育所等入所待機児童数（速報値）について（資料1）

臼杵こども未来部長

それでは、文教厚生委員会説明資料（所管事務）によりまして、こども未来部の所管事務につきまして御説明申し上げます。

3ページを御覧ください。

まず、令和6年度こども未来部の組織機構の概要でございます。

4月1日付けの組織改編におきまして、こども未来部を新設しており、こども未来部全体で3課4センターの体制となっております。

4ページを御覧ください。

令和6年度の歳入歳出予算でございます。

資料に記載の当初予算額につきましては、令和6年2月定例会でお認めいただいた予算額を再編後の組織に置き換えたものとなっております。

一般会計当初予算の総額につきましては、表の左側から2列目、令和6年度当初予算額欄の最下段に記載のとおり151億3,693万4,000円となっております。

5 ページを御覧ください。

特別会計でございます。

青少年・こども家庭課所管の母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計におきまして2億1,772万4,000円を計上しております。

6 ページを御覧ください。

繰越明許費の状況でございます。

繰越明許費につきましては、こども未来政策課、子育て応援課及び青少年・こども家庭課におきまして、一般会計で総額1億9,516万7,000円の繰越枠を御承認いただいております。

7 ページを御覧ください。

債務負担行為の状況でございます。

こども未来政策課所管の奨学金返還支援費に係る補助金におきまして2億4,000万円、医光／医工融合プログラム修学支援費に係る補助金におきまして4,800万円の債務負担行為を設定しております。

8 ページを御覧ください。

重点事業でございますが、8 ページに記載のとおり6項目の事業を掲げており、詳細につきましては、それぞれ課長から御説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

大井こども未来政策課長

こども未来政策課の所管事務につきまして、お手元の委員会説明資料に基づきまして、御説明申し上げます。

資料の10ページをお開きください。

こども未来政策課の組織図でございます。

こども未来政策課は、政策調整担当、企画担当、こども教育担当で構成されており、職員総数は兼務職員も含めまして16名でございます。

当課の事務分掌につきましては、11ページに記載のとおりでございます。

12ページをお開きください。

令和6年度歳入歳出予算についてでございますが、一般会計の当初予算額は33億6,086万8,000円となっております。

13ページをお開きください。

繰越明許費の状況についてでございますが、一般会計の事務局費につきまして、計画に関する諸条件により40万円の繰越しを行っております。

続きまして、債務負担行為の状況についてでございますが、一般会計におきまして、奨学金返還支援費に係る補助金に関して2億4,000万円を、医光／医工融合プログラム修学支援費に係る補助金に関して4,800万円を限度額とした債務負担行為を設定しております。

14ページをお開きください。

当課の重点事業についてであります。

（1）徳島県こども計画の策定・推進につきましては、こどもまんなか社会の実現に向け、子供、若者の意見を反映した徳島県こども計画を策定・推進してまいります。

（２）私立学校の振興につきましては、全ての意志ある高校生等が安心して教育を受けることができる環境を構築するため、家庭における教育費の負担軽減を図るとともに、私立学校の魅力ある学校づくりを支援してまいります。

以上でございます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

玉岡子育て応援課長

子育て応援課の所管事務につきまして、御説明申し上げます。

資料の16ページをお開きください。

子育て応援課の組織図でございます。

子育て応援課は、次世代育成担当、母子保健担当、保育支援担当で構成されており、職員数は兼務職員等も含めまして21名でございます。

当課の事務分掌については、17ページに記載のとおりでございます。

18ページをお開きください。

令和6年度歳入歳出予算についてでございますが、一般会計の当初予算額は78億7,370万9,000円となっております。

19ページをお開きください。

繰越明許費の状況についてでございますが、一般会計におきまして、児童福祉総務費で983万4,000円、児童福祉施設費で7,875万円の繰越しをそれぞれ行っております。

20ページをお開きください。

当課の重点事業についてであります。

（１）次世代育成支援対策の推進につきましては、第2期徳島はぐくみプラン（後期計画）に基づき、希望する誰もが結婚し、子供を持つことができる社会を実現するため、結婚、妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援を実施してまいります。

（２）子ども・子育て支援の推進につきましては、市町村との緊密な連携の下、子ども・子育て支援新制度を円滑に実施し、地域の実情や子育て家庭の多様なニーズに応じた子育て環境の向上に努めてまいります。

以上でございます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

原田青少年・こども家庭課長

青少年・こども家庭課、各こども女性相談センター及び徳島学院の所管事務につきまして、御説明申し上げます。

資料の22ページをお開きください。

青少年・こども家庭課の組織図でございます。

当課は、こどもの権利擁護担当、ひとり親家庭等支援担当、こども・若者育成支援担当で構成されており、職員総数は兼務職員等も含めまして19名でございます。

当課の事務分掌については、23ページに記載のとおりでございます。

24ページをお開きください。

令和6年度歳入歳出予算についてでございます。

一般会計の当初予算額は39億235万7,000円となっております。

25ページをお開きください。

特別会計の当初予算額は2億1,772万4,000円となっております。

26ページをお開きください。

繰越明許費の状況についてでございますが、一般会計におきまして、児童福祉総務費で2,942万2,000円、児童福祉施設費で703万2,000円、母子福祉費で6,972万9,000円の繰越しをそれぞれ行っております。

27ページをお開きください。

当課の重点事業でございます。

（１）青少年健全育成の推進につきましては、とくしま青少年プラン2022に基づき、家庭・学校・地域、県民総ぐるみによる青少年育成を推進するとともに、若者が集う交流拠点として、青少年センターの適正な運営を図るとともに、放課後児童クラブの設置など、地域で子供たちが安心して過ごすことができる環境づくりを推進してまいります。

（２）こどもの未来に向けた支援強化につきましては、徳島こども未来応援プランに基づき、深刻化する児童虐待に適切に対応するため、こども女性相談センターや市町村の相談支援体制の強化をはじめ、里親養育の支援及び児童養護施設等の機能強化を推進するとともに、ひとり親家庭の自立に向けた支援や子供の居場所づくり、ヤングケアラー支援など、幅広い施策を推進してまいります。

続きまして、各センター等について、御説明申し上げます。

29ページから37ページにつきましては、中央・南部・西部の各こども女性相談センターの組織図、事務分掌を記載しております。

39ページをお願いいたします。

徳島学院の組織図でございます。

事務分掌につきましては、40ページに記載のとおりでございます。

以上でございます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

臼杵こども未来部長

こども未来部の所管事務の説明につきましては、以上でございます。

続いて、6月定例会に提出を予定しております案件につきまして、御説明を申し上げます。

今回御審議いただきます案件は、令和6年度一般会計補正予算、その他の議案等の条例案及び令和5年度繰越明許費繰越計算書でございます。

まず、令和6年度一般会計補正予算につきまして、文教厚生委員会説明資料により御説明申し上げます。

3ページを御覧ください。

一般会計歳入歳出予算について、補正総額は、総括表一番下の計欄の左から3列目に記載のとおり2,625万円の増額をお願いしております。補正後の予算総額は、その右の欄のとおり151億6,318万4,000円となっております。

補正額の財源内訳につきましては、括弧内に記載のとおりでございます。

次に課別主要事項につきまして、御説明申し上げます。

4 ページを御覧ください。

子育て応援課でございますが、公衆衛生総務費の摘要欄①、アの安全安心な出産支援事業では、遠方の分べん取扱施設で出産する必要がある妊婦に対し、交通費及び宿泊費の助成を行うための経費として200万円を計上しております。

子育て応援課の補正後の予算総額は78億7,570万9,000円となっております。

5 ページを御覧ください。

青少年・こども家庭課でございますが、児童福祉総務費の摘要欄①、アのこども家庭支援連携強化事業では、こども家庭ソーシャルワーカーを養成し、市町村等との連携の下、子供や家庭を包括的に支援する体制強化に取り組むための経費として2,425万円を計上しております。

青少年・こども家庭課の補正後の予算総額は39億2,660万7,000円となっております。

6 ページを御覧ください。

次に、その他の議案等につきまして、2点御説明いたします。

まず、1点目は（1）条例案でございますが、アの徳島県こども未来関係手数料条例について、組織の再編によりこども未来部が設置されたことに伴い、関係事務に係る手数料について定めるものでございます。

続きまして、イの就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律施行条例の一部を改正する条例でございますが、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づき、内閣総理大臣及び文部科学大臣が定める施設の設備及び運営に関する基準の一部が改正されたことに鑑み、幼保連携型認定こども園以外の認定こども園における職員配置の要件を改める必要があることから、改正を行うものでございます。

7 ページを御覧ください。

2点目は、令和5年度繰越明許費繰越計算書でございます。

昨年度の定例会で御承認を頂きました繰越明許費につきましては、その後の事業進捗に努めました結果、繰越額が確定いたしましたので、各課別の繰越明許費の状況を記載しております。

表の左から4番目、翌年度繰越額欄の最下段に記載のとおり、こども未来部の合計額は1億8,060万2,000円となっております。

これらの事業につきましては、早期完了に向けて努力してまいりますので、御理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上が今定例会に提出を予定しております案件でございます。

続きまして、この際、1点御報告させていただきます。

資料1を御覧ください。

保育所等入所待機児童数（速報値）についてでございます。

本年4月1日時点においては、令和4年以来2度目の待機児童ゼロとなっております。

県におきましては、引き続き待機児童ゼロの継続に向け、保育士確保に取り組むとともに、計画的な保育所等の整備を推進してまいります。

御報告は以上でございます。

御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

立川委員長

以上で説明等は終わりました。

これより質疑に入ります。

本日の質疑は、所管事務の説明に関するもの並びに申合せにより、提出予定議案に関連する質疑及び緊急を要する案件にとどめたいと思いますので、御協力をよろしくお願いいたします。

また、質疑時間につきまして、委員一人当たり1日につき答弁を含めおおむね40分とし、委員全員が質疑を終わって、なお時間がある場合又は重要案件については、委員長の判断で弾力的な運用を行うこととする申合せがなされておりますので、議事進行につき御配慮のほど、よろしくお願いいたします。

それでは、質疑はございませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上でこども未来部関係の調査を終わります。

議事の都合により、休憩いたします。（10時54分）